



【E-73-R1】

2021 年 8 月 (第 1 版)

承認番号：30300BZX00195000

医療用品 4 整形用品
高度管理医療機器 靱帯固定具 (JMDN コード：36174003)

PEEK DEX スクリュー

再使用禁止

【禁忌・禁止】

(適用対象：患者)

1. 骨量または骨質が不十分な患者 [適切に固定ができない。]
2. 患部の血流が十分に保たれていない患者または患部に感染を有する患者 [治癒が妨げられ、不具合が発生するおそれがある。]
3. インプラント材料に対する異物感受性がある患者
4. 骨格が十分成熟していない患者 [成長軟骨板を損傷するおそれがある。]
5. 活動性の感染を有する患者 [病状が悪化するおそれがある。]

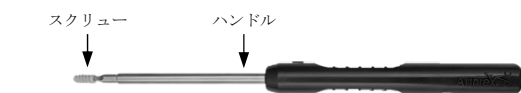
(使用方法)

1. 再使用禁止、再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

- ・インプラント



<スクリューサイズ (スクリュー最大径×全長)>

φ2.5mm×6.0mm

2. 組成

スクリュー：PEEK

ハンドル：ステンレス鋼

3. 原理

スクリュー全体を骨孔に埋植し、靱帯、腱等の軟部組織、人工靱帯又は骨片を骨組織との間に挟み込み、固定することで患部の修復を行う。

【使用目的又は効果】

本品は、靱帯、腱等の軟部組織、人工靱帯又は骨片を骨に結合するために用いる。

<適用>

肩関節、足／足関節、膝関節、肘関節、手／手関節

【使用方法等】

1. 使用方法

本品は、ディスプレイ製品であるため、1 回限りの使用とし再使用してはならない。

PIP 関節側副靱帯修復術の例：

- 1) 長さ 6cm 以上、幅 2.0mm から 2.5mm で採取した腱幅をグラフトサイジングブロックで確認する。スーチャー※で腱の両端を編み、骨孔に通しやすくする。
- 2) 関節の遠位約 1cm の中節骨基部の掌側から正中線に向けガイドワイヤーを挿入する。2 本目のガイドワイヤーを関節近位の基節骨頭の背側から正中線に向けて挿入する。
- 3) 骨質により 2.5mm 又は 2.7mm ドリルを選び、ガイドワイヤー越しにオーバードリルで貫通孔を作製する。
- 4) スーチャーパッシングワイヤーを用いて腱グラフト及びスーチャーテープ※を近位孔に通す。
- 5) 腱グラフト及びスーチャーテープ※を保持しながらスクリューを挿入して固定する。

- 6) 中節骨の骨孔にスーチャーパッシングワイヤーを通し、腱グラフト及びスーチャーテープ※を骨孔内に引き込む。
- 7) 同様に腱グラフト及びスーチャーテープ※を保持しながらスクリューを挿入して固定する。挿入中は PIP 関節を伸展位 20° に保ち、前後面はニュートラルで回転しないようアシストする。
- 8) 余った腱グラフト及びスーチャーテープを切除する。
※自社指定品

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) 手術器械は手術手技書で指定するものを使用すること。
- 2) スクリューを骨に挿入する際にスクリューとハンドル先端が完全に嵌合し、スクリュー中空に曲がらずに挿入されることを確認すること [スクリューまたはハンドルが破損する恐れがある。]
- 3) スクリューを挿入する際には、スクリューの先端が下穴に入っていることを確認し、下穴の向きに合わせて挿入すること [意図した位置まで挿入できない又は製品が破損するおそれがある。]
- 4) スクリューを骨に挿入する際には優しく力を加えること。抵抗を感じた場合は、無理に挿入せず、その原因を取り除くこと [製品が破損する恐れがある。]
- 5) スクリューを骨に挿入する際にスクリュー後端が骨表面と一致するまで挿入をすること [スクリュー後端が骨表面から出ている状態になり、軟骨・軟部組織を損傷するおそれがある。]
- 6) 使用するインプラントは同じ材質を使用すること。

【使用上の注意】

1. 使用注意 (次の患者には慎重に適用すること)
 - 1) 糖尿病などの生活習慣病患者、関節リウマチの患者 [骨形成が阻害され骨癒合が遅れることにより不具合等発現の可能性はある。]
 - 2) 肥満体 [患者の負荷のため、骨との固定が不良となったり、インプラント材料の変形や破損により不具合発現の可能性はある。]
 - 3) 適用部位の骨が硬い患者 [無理にインプラントを挿入することでインプラントの破損もしくは設置不良のおそれがある。]
 - 4) 活動性の感染を有する患者 [病状が悪化するおそれがある。]
2. 重要な基本的注意
 - 1) 本品は体重負荷、荷重を支持するように設計されていないため、癒合するまで適当な外部支持を加える等してインプラント部に過度の負荷をかけないよう活動を制限すること。本品への過剰な負荷を防ぐため、患者には術者によって計画される術後管理を厳格に従わせること。
 - 2) 遷延治癒、偽関節、骨癒合不全などにより、過度の負荷が生じ、インプラントが破損する危険性があるため注意すること。
 - 3) 本品を使用する患者に対し、考えられる不具合等の可能性について書面で十分に説明を行うこと。
 - 4) 癒合が得られた後にインプラントを抜去するかしないかについては、必ず術前に検討を行い、抜去する場合は適切と思われる抜去時期を計画し、計画通りに実施すること。
 - 5) インプラント材料に対する異物感受性が疑われる患者には埋め込み前に適切な試験を行い、感受性がないことを確認すること。
 - 6) 本品は MR Safe であり、一般的な MR 検査による影響はない [自己認証 (当社データ) による。]

手術手技書を必ずご参照ください。

3. 不具合・有害事象

1) 重大な不具合

製品の変形・破損

製品の移動・弛み・抜け

2) 重大な有害事象

本品の使用において患者の状態、適用部位の状態などにより次のような有害事象がまれに現われることがあるので、その場合は直ちに適切な処置を行うこと。

- (1) 術後神経障害
- (2) 軟骨・軟部組織損傷
- (3) 骨壊死
- (4) 偽関節・遷延癒合
- (5) アレルギー反応・異物反応
- (6) 軟部組織の炎症
- (7) 血行障害
- (8) 骨折
- (9) 感染症
- (10) 体内遺残
- (11) 遷延治癒・癒合不全

3) その他の有害事象

- (1) 痛み・不快・違和感
- (2) 骨短縮
- (3) 骨密度低下
- (4) 変形癒合

4) 高齢者への適用

高齢者は一般に骨量・骨質が十分でないことが多いので、慎重に使用し、治療の経過にも十分に注意すること。

5) 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

レントゲン、透視撮影時のX線照射が胎児に影響を与える可能性を十分に考慮すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管の条件

- 1) 包装にきずや破れが生じないように、取り扱い及び保管に注意すること。
- 2) 本品は高温多湿や直射日光を避け、水濡れに注意し、清潔な場所に保管すること。

2. 有効期間

ラベルまたは包装に表示[自己認証（当社データ）による。]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：Arthrex Japan 合同会社

電話：03-4578-1000

製造元：Arthrex, Inc. (アメリカ合衆国)

